

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

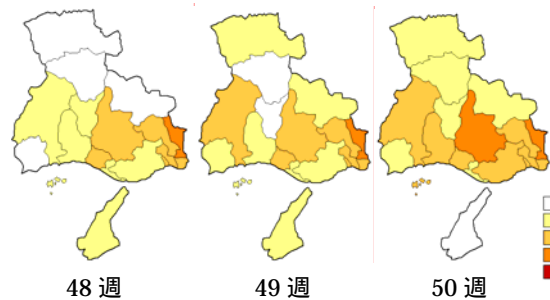
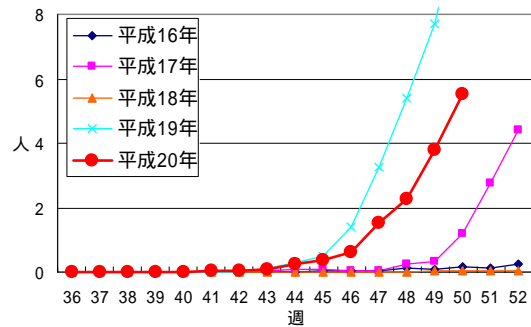
インフルエンザの定点あたり患者数は **5.54 人** となりました。第 47 週に流行開始の目安となる 1.00 人を超えて以来、患者数の増加が続いています。地域的には伊丹保健所管内及び社保健所管内の定点あたり患者数が注意報基準である 10.00 人を超え、それぞれ 20.83 人及び 14.77 人となりました。全国的には 49 週現在、本県を含め 10 道府県で注意報レベルを超えています。

学級閉鎖等の累計数は 49 週までの集計で、全国では 327 施設で欠席者数 3,975 人、県内では 76 施設、644 人となっています。

12 月 18 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1(A ソ連) 型 55 件、A/H3(A 香港) 型 100 件、B 型 62 件となっていて、3 つの型が入り混じっています。県内では A/H1(A ソ連) 型 4 件、A/H3(A 香港) 型 7 件、B 型(ビクトリア系統) 10 件が検出されています。

インフルエンザは流行が始まると急速に患者数が増加することから、今後の動向に注意が必要です。

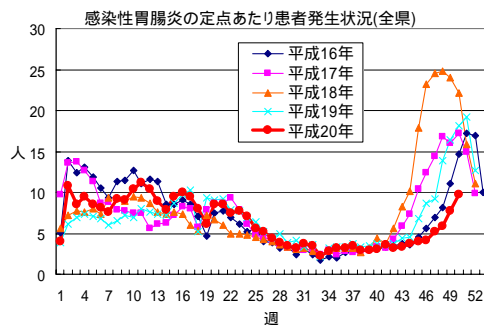
インフルエンザの定点あたり患者発生状況(全県)(第36週～)



定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

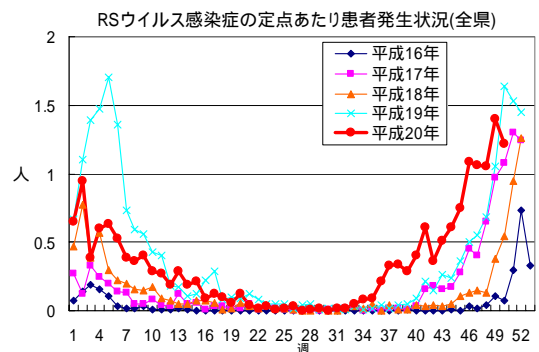
感染性胃腸炎

患者数の増加が続いています。今シーズンは流行の立ち上がりが遅くなっていましたが、例年、これから年末にかけて患者数の増加が見られますので注意が必要です。



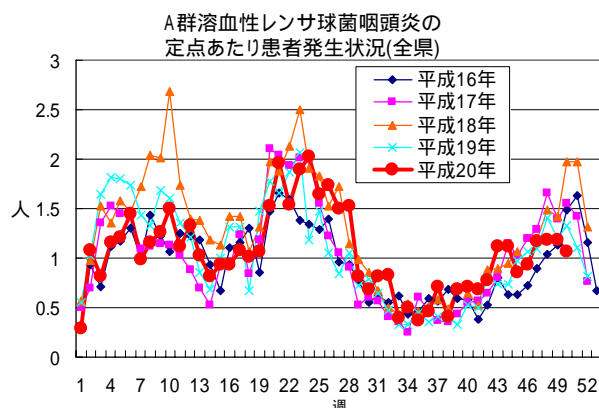
RSウイルス感染症

今週、患者数が減少しましたが、依然として患者数は多い状態で、今後も注意が必要です。



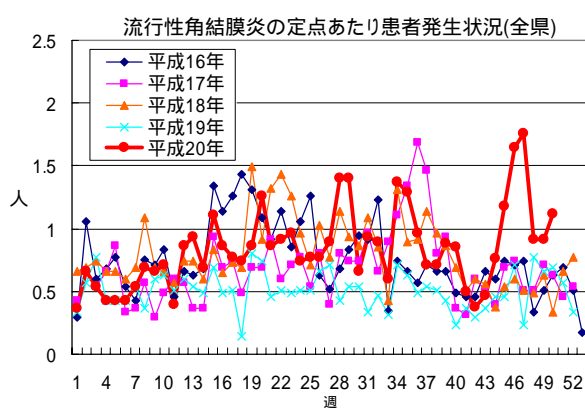
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週患者数は減少しましたが、感染性胃腸炎や水痘とともに、例年、年末のピークに向けて患者数の増加が見られる感染症であり注意が必要です。



流行性角結膜炎

今週患者数は増加しました。地域的には依然として尼崎市管内からの報告数が多くなっています。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	9.68	7.75	+1.93	6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	1.19	-0.13
2位	インフルエンザ	5.54	3.78	+1.76	7位	突発性発しん	0.43	0.38	+0.05
3位	水痘	1.80	1.44	+0.36	8位	手足口病	0.35	0.47	-0.12
4位	RSウイルス感染症	1.22	1.40	-0.18	8位	咽頭結膜熱	0.33	0.36	-0.03
5位	流行性角結膜炎	1.12	0.91	+0.21	10位	流行性耳下腺炎	0.30	0.27	+0.03

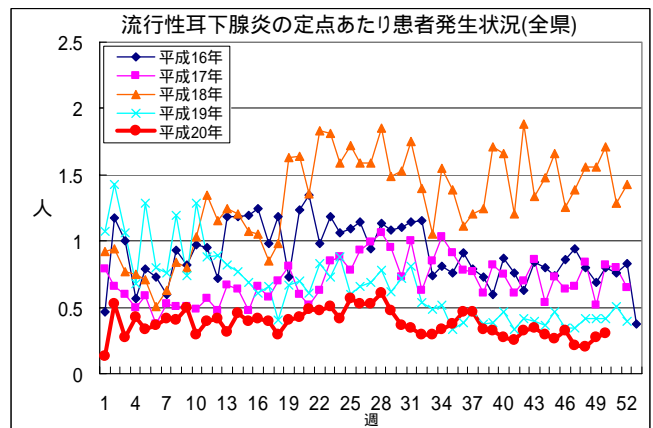
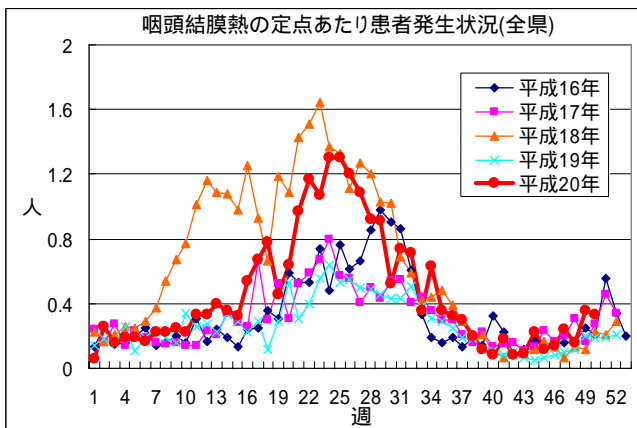
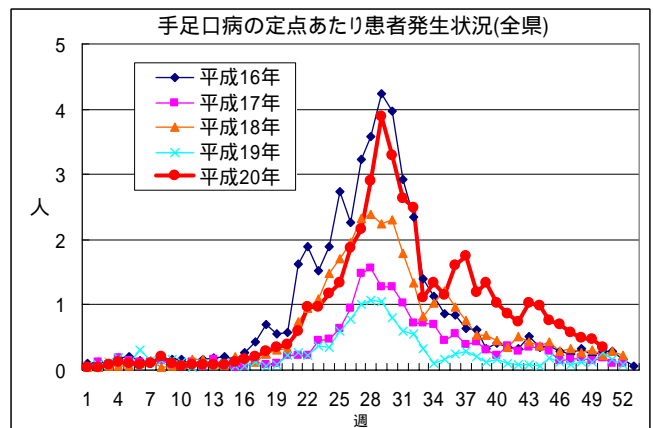
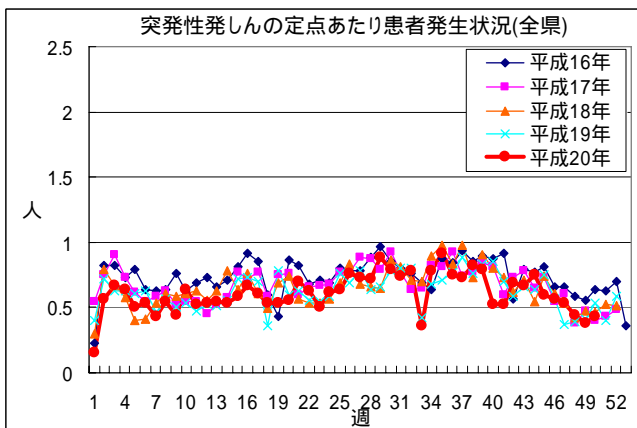
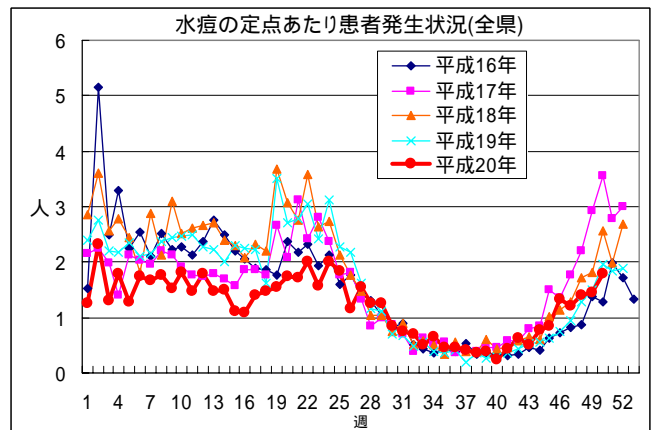
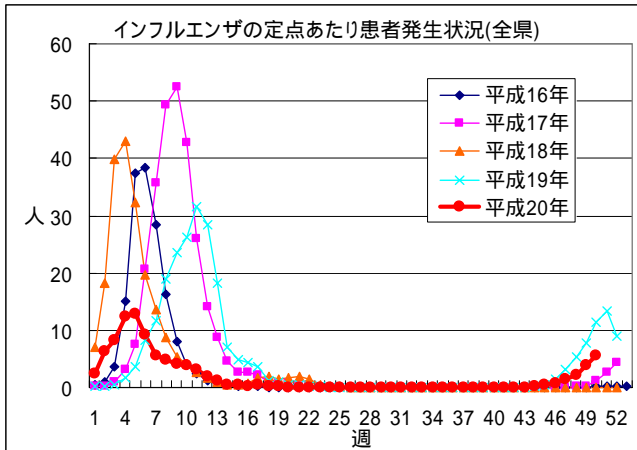
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 18名 （神戸市5名、尼崎市1名、姫路市1名、西宮市6名、伊丹保健所管内1名、加古川保健所管内2名、赤穂保健所管内1名、豊岡保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	梅毒（晩期顕症梅毒）1名 （福崎保健所管内）
追加報告	結核 2名 （尼崎市 1名；第49週、姫路市1名；第49週）

検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所）

龍野保健所管内での学級閉鎖関連で小学生3名からインフルエンザウイルスAH1（Aソ連）型が分離されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。